



めんごい



山形市社会福祉協議会、避難者生活支援相談員です。いつもお世話になっております。

☆今回のラインナップ☆

特集…東日本大震災から2年。今の想いを教えてください。

避難されている方の想い・山形市民の想い

震災から2年。今の想い、そのまま載せました。

避難されている3名の方より今の想いを教えていただきました。

(福島県南相馬市出身)

東電福島第一原発事故からもう2年になります。事故はまだ収束していません。

我が家は第一原発から約16kmにあります。

賠償、除染に関しても、政府、県の対応は私達の思いとだいぶ乖離しております。特に除染に関しては不信感が強いです。放射線量の低減やインフラの整備、病院は？買い物は？等々不安なことばかりです。

孫達に南相馬市には戻らないと云われてからは大金をかけて家のリフォームをする気にもなれません。2年間も家を閉め切っておけば内部の傷みは相当なものです。現時点では、戻るべきかどうか、とても悩んでいます。

当地に避難してから皆様には大変お世話になっております。とても感謝しております。

(宮城県石巻市出身)

石巻に戻りたい…只その事を思って生活していました。どうして私だけ皆と離れてるの？そんな事を思いながら毎日を過ごして来ました。

震災当時は、まだ2歳前だった娘も間もなく4歳を迎えます。新しい場所で新しい保育園での生活、新しい友達とも中々慣れない様でした。登園初日、持っていたリュックを離さずずっと持っていた。2日目、少し離れた所に置けるようになった。3日目には、ロッカーに入れられるようになった。3ヶ月以上泣きながらの登園だったのが、今ようやく慣れて友達と仲良く遊べる様になり、笑顔で行ける様になった。その事を聞いた時は涙が出ました。こんな小さな体で、心で、頑張っていたんだナァ…私だけじゃなかったんだと。

私がしっかりこの子を守らなくてはと強く思いました。生きていてくれて有難うと寝顔を見る度に思います。

(福島県福島市出身)

あの震災からもう2年が経とうとしています。私は家族と離れ、山形に娘と二人で自主避難してから約1年半になります。もう2年になるのかという想いと、この2年で生活環境が大きく変わり、様々な出来事があったからか、まだ2年だったかしら？という想いと両方です。

誰一人知り合いがいない状況で山形に来ましたが、子供の繋がりや、仕事の繋がりから、地元の友達、知り合いが出来、同じ境遇の福島市からの友達、知り合いも出来ました。ありがたい事です。

沢山のご支援に支えられて山形生活を快適に過ごせる反面、これからいずれ、家族が首を長くして待っている福島へ帰らなければならない事を考えると、今から不安でたまりません。

東日本大震災から2年、山形市民の方より今の想いを教えていただきました。

(20代・女性)

震災時、山形市も停電してラジオだけしか情報がなかった。翌日、電気が回復し、テレビをつけて初めて津波の被害を知った。

震災後、友達が震災を忘れないようにと震災の本をすぐ買ったり、自分も震災の写真本のコーナーが大きく設置されているのを見て、改めて規模の大きさを知った。また、自分の気持ちの変化としては、震災前は地震をそんなに意識していなかったが、震災後は小さな揺れでも敏感になった。

震災から2年経って、正直自分が避難している訳でも、近くに避難者がいる訳でもないので関心がなくなった。しかし、被災地で活動している人達をテレビで見ると頑張っているのだと思うし、風評被害を受けたものが市場に出てきた時、震災後、それから遠ざかっている人はまた購入して欲しいし、酷評していた人達に安心・安全であるものと分かって欲しい。

(50代・男性)

実家は南三陸町にあったが、津波で家を失くしたため実家の家族は仮設住宅で暮らしている。

昭和35年のチリ地震の津波でも家を流され、二度被害を受けた。

病気がある父は震災前は自宅で生活していたが、仮設住宅の狭さと設備の問題から一時間以上かかる施設に入所し家族が離れ離れになった。

狭くて息が詰まる仮設住宅に二世帯で暮らすには限度がある。また、親戚一同が実家に集まること出来なくなった。

高齢の母は生きているうちに自宅があった場所に帰れないと、うつ病になっている。報道では良い所しか映しておらず、末端にいる何も出来ない人がいることをわかって欲しい。

絆という言葉をよく耳にするが、家族として絆が戻る日は果たしてくるのか。一日も早い復興を願わずにはられない。

(70代・女性)

今回の震災は、今までにない事だった。山形市の揺れでパニックになる自分が今になって恥ずかしいくらい。津波があんなにも恐ろしいものだとは思わなかった。

被災にあわれた方達に1日でも早くお金を出してあげて少しでも安心させていただきたい。国が悪いのか、自治体が悪いのか早く立ち直ることだけ願う。

(70代・男性)

私は農業と不動産貸付業をしています。

同じ家持ちの人達には本当に心が痛みます。地震もですが、原発の恐ろしさや生まれた土地を出るといことは言葉では言い切れません。

私のアパートには原発事故の影響で離れて暮らす家族が住んでいます。かわいそうで、温かい気持ちで見守っています。避難者の皆さんもお互い温かく励まし合ってください。

(80代・女性)

テレビやラジオなどで津波に遭ったことを見聞きし、実際に被害に遭いながらも暮らしている人達を思うと、ただただ、本当に可哀想でなりません。

頑張っただけに体につけて自分の人生を見出してください。

編集後記

平成25年3月11日で東日本大震災から2年が経ちました。

今回、8人のみなさんに震災から2年経っての現在の想いを書いていただきました。

それぞれの立場・考えがある中での言葉です。これからもみなさんの声をお聞かせください。

～お気軽にご連絡ください～

山形市城西町二丁目2-22 山形市総合福祉センター2階 山形市社会福祉協議会

電話：645-8061(平日8:30～17:30)福祉のまちづくり係(結城英彰・佐藤貴司)

メール：h.yuuki@yamagatashishakyo.or.jp

連絡先